レッスン：PYR 92 Y

テーマ：SEVENTY-TWOS（セブンティートゥズ）

PYR92 KE08 No.14 04/06/08

私の姉妹、兄弟たち

スピリット、光そして火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性の中に抱かれています。

レッスン　PYR 92 エクササイズ　No.1

　目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…純白の中にいる自分を見、自分の形の境界を感じます…

　あなたはこの部屋に座っていることに完全に気づいています…深くて快適な呼吸を始めます…息を吸う度にあなた自身の白さがより輝いてクリヤーになっていきます…息を吐くたびに、あなたの中にあるネガティブなものが出て行きます…この深くの快適な呼吸をする結果として、全てのネガティブな考えが徐々に消えていきます…深くて快適な呼吸を続けます…あなた自身の白さがより澄んで輝いていき、このあなた自身の白さはまた、あなたの現在のパーソナリティーが何であれネガティブなものと関係していないことを意味します…

　今、あなたの白さが前にあったネガティブなものから完全に解放されているステートに到達しました…とても輝いてクリヤーであり、心がとても静かになっています…自分のヒポスタシス、肉体に関してあなたが感じる唯一のものは心臓の鼓動だけです…心臓の鼓動を感じ、そして同時に血液の流れを感じます…同時に勿論、自分の呼吸を感じますが、しかし呼吸も努力なしに自然に行われています…

　さて、今あなたがいるこの部屋は白い光の輝きで満ちており、それがあまりに輝いているのでその中にあたかも小さな星々が見えるかのようです…そしてそれらの小さな星は動きを現しています…この光の輝きは生きているように見え、その中には動きがあります…ですから部屋全体がこの真っ白な光の輝きによって満たされています…あなたはこの光に包まれているのを感じますが、即座にそれが普通の光ではなくアガピによって包まれているのだと感じます…Lifeそれ自体によって包まれているのです…とても良い気持で、どんなネガティブなもの、さらには何であれ二元性が与えるものさえも越えた世界にいるかのように感じます…

　そして今、自分の心臓の鼓動と呼吸を感じるだけでなく、このLifeの動き、Lifeの鼓動を感じます、なぜならLifeの主な特質の一つは動き、活動だからです…今、この動きを感じます…それを感じてください…そしてその結果、その動き、活動を感じ始めると…自分の意識が肉体の形の境界を越えて拡大していくのを感じます…あなたの意識はこの純白の光の輝きの中で広がっていきます…とても良い気持です…動き、活動である純白の光の輝きの中で自分の意識が拡大していくフィーリングを言葉で説明することは不可能です…

　今いるそのステートが、あなたがLifeの本質からもっと多くを現すのを助けてくれるように願います…Lifeに包まれているそのフィーリングを感じます…徐々に意識は肉体の境界の中に戻って来ます…しかしまだLifeの本質の中にある脈動を感じています…あなたはLifeです…それらの脈動を感じ、それが自分の内側にもあるのを感じます、そしてあなたはこのようなLifeの本質を現すことを求めるべきなのです…今あなたがその中にいるそのステートを…これをこれからも何回も何回も再び体験することを願います…

　あなたの現在のパーソナリティー全体の良い健康を願います…私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。終わります。

Page2

 何であれ自己実現した惑星に起きることをもう少し見ていきましょう。レッスンの中で述べましたが、一つの惑星で全人類が自己実現に到達すると、それらのパーソナリティーとしての（もはや現在のパーソナリティーではなく、自己実現したパーソナリティーです）モナドセルフ達は創造界の中で役割があり、様々な惑星（同じまたは他の太陽系内の惑星、または銀河系内の惑星など）を訪れて他の人類達を助けます。

　自己実現した惑星からの自己実現したパーソナリティーとして、やるべき別の役割があります。彼等は別の惑星に再び転生し、その惑星における全てのプロセス、つまりその惑星における人類の最初の転生から最終的に自己実現に到達するまでの全プロセスを、自己実現したパーソナリティーとして目撃するのです。

　特定の惑星上において働くseventy-twoの数は決まっています。新たな惑星におけるseventy-twoの最初の転生は物質化してそこに現れ、それ以降は普通のやり方で誕生と死のプロセスを繰り返します。

　まず最初に、新しい惑星が現在のパーソナリティーとしての最初の転生を受け入れることができる段階になると、seventy-two達がそこにいて、人々を歓迎しますが、しかしサイコノエティカル界で働き、肉体を持って働くわけではありません。なぜなら新しい惑星に初めて生きる人間達は動物とあまり変わらないからです。彼等は本能意識的意識のセルフエピグノシスを現し；まだ二元性を示していません。そしてそれらの人類達が示す唯一のことは生き残ることだけで、つまり食べることだけです。彼等はまさに動物のように振る舞います。

　そしてそれらの人間達が非常に多くの転生の後に二元性を現すようになると、その時それらのseventy-two達が形を取るようになり、最初の肉体が物質化して現れ、人々を適切に導くようになります。それ迄は、人間たちはseventy-twoを目で見ることはできず、seventy-twoは内側から彼等を導きます；しかし、彼等が二元性を現し始めると、seventy-twoは肉体を帯びて存在するようになります。

　彼等は初めから自己実現した人間であり、その多重性を現します。

　そして肉体を持った後は、その惑星上の全ての人間と同じような人間としてみなされます。唯一の違いは、彼等は自己実現した人間であるということです。そして年月の経過と共に、その惑星の人類達もまた自己実現に到達します…非常に長い年月の後に、数千年ではなく数百万年の後に。そしてseventy-twoと全く同じようになります。

　さて、seventy-two達がその惑星でどれほど多くの転生を重ね、そこで家族を作ったりして暮らすのか等は問題ではありません。なぜなら、彼等の義務はまたその惑星で人間が増えることを助けることでもあるからです。

　さて、なぜそのようなことが起こるべきであり、そしてそれは誰のためでしょうか？それはスピリットモナドセルフのため、または絶対Life、神のためでしょうか？前に説明しましたが、それは惑星における人類のためであると述べました。なぜなら、惑星ロゴスはスピリットモナドセルフが自己実現した結果であり、実際に自己実現した人間としての、この2回目の転生において、新しい惑星の初めから惑星自体の自己実現までを身近で目撃することによって、体験を得ることができるからです。スピリットモナドセルフがロゴス（それが惑星の、または太陽系の、または何のロゴスであれ）として微細なスパークをそれ自身から投射し、初めからステートにおける最後までの体験を通じた知識を得ること（それは同調でも同化でもなく、実体験による知識です）、そして超意識ではなくLifeの意識による体験であり、それは言葉では言い難い体験です。

Page3

 ですから実際、全ての人間にとって、その人間が存在の諸世界に入るまでに、惑星における最初の転生から最後の転生までのサイクルを2回体験することになります。そして2回目のサイクルで奉仕した後に初めて、その自己実現した人間は存在の諸世界に入り、魂のセルフエピグノシスに自己実現を与え、そして魂のセルフエピグノシスは後にこの自己実現をスピリットセルフに与えるのです。

　それは神に戻る、テオーシス（＊神との再合一）までの非常に大きなプロセスです；多くの人々、そして教会はテオーシスについて、あたかもそれが明日起きるかのように話しています。

　新しい惑星においてそこで自己実現した人間とseventy-twoたちとの違いは、その惑星が自己実現すると、seventy-twoは他の惑星でseventy-twoとして奉仕した他の全てのseventy-twoと共に自分達の惑星に戻り、存在の諸世界に入ります。そして新しい惑星で自己実現した人間達は、他の惑星上に転生してそこの人類に自己実現したseventy-twoとして奉仕するのです。

この詳細は、最近浮上して表面に出てきたものです。

Q：前には述べられませんでしたが、seventy-two　達は自分達の惑星に戻り、全員が戻って来るまで待つのですか？

K：違います、待つことはしません、即座に生じます；それは全く時間の意味を越えています。

Q：その惑星上の全員が72人のグループになって散っていくのですか？

K：勿論です。無数の惑星があっという間に生まれ、そこに人類が現れます。ですから大きな数で混乱しないでください。数というものはありません。脳はその数を想像することはできません、数は不可能ですから。

　 私たちは時間・空間と共にこの次元に生きています、なぜなら私たちはLifeそれ自体の

“スピード”を知らないからです。思考の動きはあまりに遅く、光の速度の動きですらあまりにも遅いのです。唯一の動きとは全ては全ての中にあり、そして実際、あなたは全く動かないのです。

　ですから、その惑星上の全員は、自己実現した人として、そしてまたseventy-twoとして奉仕した全ての人達は､自己実現した人間として必要な体験と共に魂のセルフエピグノシスへと戻ります。自己実現した人として魂のセルフエピグノシスはスピリットモナドセルフに自己実現を与え、そしてそのスピリットモナドセルフは何であれ必要なことに奉仕します。これらの手順、プロセスは、ディバインの黙想の結果として、そしてLifeはこの活動のなかで何であれ起きた事の恩恵を求め、永遠に続きます。

　それゆえに、惑星ロゴスはその惑星における人間に、何であれその人のためになることを与えることが“できる”のです…つまり全ての個人に関係する、惑星上におけるすべての自然現象を意味します。そして前に述べましたが、惑星ロゴスはその惑星の人間一人一人の髪の毛の数まで知ることができるのです。

　惑星ロゴスと神との間に何か違いがあるでしょうか？答えはノーです。なぜなら、神だからです。しかし自己実現したステートにおいて、自己実現したモナドですら神なの*です*。神は全ての人の内側にあり、初めての転生の時からすでに神はその現在のパーソナリティーの内側にいるのです。

　さて、ロゴス達が担当する仕事によって様々なロゴスがいます。ですから太陽系のロゴス、銀河系のロゴス、その他です。しかしとりわけ、汎宇宙的キリストロゴスとしての神自身、イエスキリストロゴスがいます。

Q：それらのロゴス達はテオーシスに到達しました；しかしそれはテオーシスにおいて終わりではないのですか？

K：勿論、彼等は神です、しかし今でもあなたの最内奥のセルフは、私たちが神と呼ぶワンネスの部分、一つの分子なのです。今でさえ、私たちの最内奥のセルフは決してアウタルキーを去ったことはなく、神のワンネスを去ったことはないのです。最内奥のセルフとしての私たちは誰も決して神のワンネスを去ったことはないのです。

　しかし、説明したように、神は量ではなく質です。ですから、私たちの内側にあるLifeのスパークでさえ神であり、その本質はまさに最内奥のセルフ、スピリットモナドセルフ、そして絶対存在の全体としてのワンネスと同じなのです。そこにはいかなる違いもありません。もしあなたがスピリットモナドセルフにそれは何かと尋ねると、“私は神である”と答えることでしょう。

Page4

Q：影としての現在のパーソナリティーも内側に神のスパークがあるのですが？

K：レッスンで説明しました：Lifeのスパークは私たちの中にあり、それが人間と他の全ての動物との違いであると。動物は内側にLifeのスパークを持っていません。彼等はLifeの直接的結果ではありません。人間である私たちの中にはLifeがあります。それ故に、現在のパーソナリティーは奮闘し、努力して、自己実現した現在のパーソナリティーを現すべきなのです。Life、それが私たちです。なぜなら私たちの内側には神がいるからです。

Q：動物もまた内側に神がいます、つまり分子、全て、エネルギーが彼等を形成しており、最終的には原子その他の構造のなかに神がいます。

K：それは異なっています。もし身体のことを言うなら、確かにそうです。なぜなら身体は聖霊的に築かれており、それゆえに身体は生きていると言えるのです；確かに身体は生きていますが、だからといってその中にLifeがあるわけではなく、それが違いです。私たちの肉体も確かに生きていて、同時にその中にはLifeがあります、例え現在のパーソナリティーがそれを現していなくても。そして私たちの目的はLifeを現すことであり、肉体を持つことによっても。そして人間にはそれができるのであり、そうすることが全ての人が果たすべき仕事です。

　今のところ、私たちはアイコンを現しており、そこにはアイコンがあり、私たちはそれを見、私たちはそのアイコンを表現することを求めるべきです。しかしそのためには、そのアイコンを壊して、それによって神つまり、天人、イエスキリストロゴスの似姿を現すべきなのです。

Q：あなたがLifeと言う時、思考と意識の活動を意味しますが、しかし動物にもまたLifeがあり、それはLifeの質が違うだけではないですか？

K：ノー、彼等は彼等を創造したエンジェルやアークエンジェルとのつながりの結果として、特定の動物として機能しています。皆さんが自己実現に到達すると、あなたの創造エーテルを使用してどんな動物の身体をも築き、物質化することができ、あなた自身でそれにLifeの息吹を与えることができます。それはその創造物に与えたプログラムに従って生きていきます。あるいはあなたは動物の身体の中に自分自身を現すこともできます。その形に骨組みのこの法則を与えることによって、そうすることができます。なぜなら、Lifeがその本質を完全に現すためには、この骨組みが活性化する必要があるからです。

　活性化された骨組みは創造界における最大の法則を意味します。それは法則であり、それが活性化される時、それはあなたが創造の法則のマスターであることを意味します。それが生じるためには、そのパーソナリティーがLifeの本質を完全に現している必要があります。なぜなら、Lifeの本質、それはいかなる法則よりも上にあるからです。ですから､例えばあなたは犬または熊の身体を物質化することができ、それらを他の同胞の人間達を助けるために使用します…助けてくれたのは人間であると言うことを彼等が認識することなく。

Q：自己実現したパーソナリティーが多重性を現す時、その多重性の現れのなかでも生命の木が関係するのですか；その場合も生命の木が完全に活性化されるのでしょうか？

K：そのパーソナリティーは進化のプロセスを通過しません、この場合には骨組みを活性化することはない､と言う意味です。しかし勿論骨組みはそこにあります；結局そのパーソナリティー（＊自己実現したパーソナリティー）はその法則をマスターしており、その法則はその瞬間から以降はそのパーソナリティーのなかにあり、そのパーソナリティーがそれをマスターして得るというものではありません。

　その瞬間以降は、Lifeとして自分自身にその法則を提供します。努力してそれにアプローチするのではなく、それは内側にあり、その瞬間以降それはそのパーソナリティーの本質となるのです。

Q：多重性に関してですが、seventy-twoは多くの同一体を生み出すことによって、仕事において多重性を実行しているのですか？

K：そうです、必要な時には。しかしそれは彼等が両親から多重性として生まれるということではありません。そういうことは起きません。彼等は結婚というプロセスに従い、子供を生み育てます。そしていつでも必要な時は不可視のヘルパーとしてその多重性を現します。

Q：その同一体は肉体を持って、同胞の人間達の痛みを軽減するために十字架に架けられるということはないのですか？

Page5

K：そんなことはありません。全ての同一体は同一体を創造したそのパーソナリティーの肉体とつながっています。そして例えそれが犬の体であっても、何であれ犬の体に起きたことはその現在のパーソナリティーの肉体に影響を与えます；もし100の同一体があるとしたら、それら全ては元の一つの肉体とつながっています。

　それら全ての同一体は奉仕という目的のために創造され、それぞれの同一体は奉仕の活動においては独立して働きます。各同一体は異なった仕事を行い、ディバインの黙想の活動もその奉仕によって、そして奉仕中に経験する出来事によって異なります。彼等の奉仕は物質界において、そして他の波動領域においても行われます。

Q：彼等はサイコノエティカル界においても多くの同一体を生み出すことができるのですか？

K：サイコノエティカル界においても、時にはそれも可能です。しかしサイコノエティカル界ではあなたが何を行っても、肉体には何の結果も生じません、あなたがどのような助けを与えても。時には、それがあなたの仕事でなくても助けるために呼ばれるかもしれません、しかしそこであったことはあなたの肉体に影響を与えません。あなたのそこでの助けはいかなる痛みをも軽減しません、なぜならそこでは痛みは存在しないからです。

Q：なぜ、しばしば“時には肉体と共にあってさえも”と言うのですか？

K：はい、いつもではありませんが。なぜなら肉体はそこにあります。しかし時には、それらは肉体と共に来ます、そしてその肉体が人間のイデアのフォーム、あるいは他のいかなるフォームかもしれません。しかし影であっても、不可視であるためにはそれらのマインドの波動に触れていて、あなたにとって具体的である必要があります。そしてあなたは存在する波動を物質のエーテルの状態に下げます。そしてあなたがそうする時、あなたは肉体とつながり、あなたの肉体は100又はそれ以上の同一体からの結果を受けてしまうのです。

Q：全ての同一体は常にお互いの仕事に気づいているのですか？

K：どう思いますか？Lifeにとってそれに気づいていないということが可能でしょうか？創造界の終わりなき混沌のなかでそれ自身を現しているLifeのスパークの一本一本の髪の毛さえも神は気づいているのに、Lifeがそれに気づいていないということがありえるでしょうか？

Q：自己実現した人は皆同じように見えるのですか？

K：レッスンの中でそれに関して述べました；自己実現した体、それは高次ノエティカル体とノエティック体ですが、確かにそれらは似ています。そして全てのアークエンジェル達は全く同じです。唯一の違いは、オーダーが受け持つ仕事の結果として、アークエンジェル達が現す輝きは異なります。自己実現した人間の体の輝き、あるいは自己実現した魂のセルフエピグノシスの体、または自己実現した現在のパーソナリティー、もしそのパーソナリティーが高次ノエティカル体を使用する場合、唯一の違いは、その輝きは安定した輝きではない、いつも同じではないということです；なぜなら何であれ創造界において行う自由意志があるからです、何であれ全てのアークエンジェルのオーダーが行っていること、そしてそれ以上のことです。そこには自由なブレーシス、意志があります；それはもはや（＊人間の普通の）意志ではありませんが。ですから、自己実現した現在のパーソナリティーについては、他の全てのアークエンジェルのオーダーとは違います。

　アークエンジェル達には私たちが理解しているような思いやりと感情があるでしょうか？ありません。しかし彼等はアガピです。しかし彼等は人間のレベルに来ることはできません。しかし惑星ロゴスは勿論できます。

Q：全ての諸宇宙を結びつけるもの、そして共通する原因とは何ですか？

K：原因はLifeの海です。なぜなら、私たちはこのLifeの海の本質にはない時間と空間のいかなる意味をも持ち込むことはできないからです。

　創造界については、それは原因の結果であり、そして海とはそこに全ての創造が浮かんでいるものです。それはマインドの一番高い波動であり､私たちはそれをスーパーサブスタンスと呼んでいます。このスーパーサブスタンスの中に全てが浮いているのです。

　さて、原因としてのLifeの海があり、最初の手段があり、それによって何であれ創造され、物質化されたものがその中で浮いています。しかし、何がいろいろな天体がお互いに衝突しないように秩序を与えているのでしょうか？ここでも、創造界における諸法則が原因であるLifeそれ自体によって与えられています。もし神とは何かと問われたら、私たちが与えることのできる唯一の答えは、神は全ての原因であり、それは絶対リアリティーであり、それは人間の脳の理解を越えたものである、というものです。

Page6

 創造界において全てを結びつける主なもの、それはLifeそれ自体です。いわゆる天体と天体の間の空間にもLifeはあります。

　ですから、Lifeの海があり、それはあらゆるところにあり、全ての中にあります。全ての天体がその中に浮かんでいることができる手段としての海というものがあります。そしてまた低い波動があり、さらに低い波動があります。しかし、また全てはスーパーサブスタンスの中にあります…低次の波動が最も高い波動の中にあっても。ですから、もしエーテル活力について話すなら、それもまたLifeの本質等のなかにあるのです。

　さて、創造界、及び創造界のなかにおける人間に関しては、それらはLifeの海によってつながっています。たとえ皆さんがこのことを（＊キリスト教会の）司祭に話しても、彼らはあなたに反対できません。キリスト教では“神は光であり、主はこの世界にやってくる全ての人間を照らし出す”と言います。ですから神は私たちの内側にいるのです。

EREVNA PYR 92 No.14 04/06